

2015年 印刷 文化典

設立 30 周年記念式典 2015 年印刷文化典

GP 環境大賞、準大賞 15 団体を顕彰

設立 30 周年記念式典
2015 年 印刷文化典
一般社団法人 日本印刷産業連合会

印刷文化賞5氏、功労賞、振興賞、特別賞 40 氏を表彰

第 14 回印刷産業環境優良工場表彰 経済産業大臣賞に株式会社笠間製本印刷

一般社団法人日本印刷産業連合会は、設立 30 周年記念式典 2015 年印刷文化典を、9 月 16 日（水）午後 4 時より、千代田区紀尾井町のホテルニューオータニ「鶴の間」で開催、ご来賓、会員、関連業界からおおよそ 700 名が参加した。

日印産連表彰では、今年が印刷文化典開催年であることから印刷文化賞 5 氏、印刷功労賞 14 氏、印刷振興賞 22 氏、特別賞 3 団体 1 個人が表彰された。また、第 14 回印刷産業環境優良工場表彰では、株式会社笠間製本印刷が経済産業大臣賞、経済産業省商務情報政策局長賞 2 工場、日印産連会長賞 5 工場、同特別賞 2 工場、同奨励賞 11 工場がそれぞれ表彰された。また、今年度初の試みとなる「GP 環境大賞」には、ジェイアール東日本企画など 5 社に大賞、準大賞に 10 社が選ばれ、稲木歳明会長より賞状と記念品が贈られた。

このあと、午後 6 時から 700 名を超す参加を得て懇親会が盛大に開催され、表彰受賞者を囲んで和やかな歓談が繰り広げられた。

設立 30 周年記念式典 2015 年印刷文化典は、全員起立しての国歌斉唱に続き、主催者を代表して稲木歳明一般社団法人日本印刷産業連合会会長が、会員団体並びに関連業界の皆様、経済産業省をはじめとす

るご来賓に 2015 年印刷文化典への出席に謝意を表したうえで、日本印刷産業連合会の設立経緯を紹介、「設立以来、経済産業省をはじめ関係省庁の熱心な指導、そして製紙、インキ、機械、製版機材など印刷に関わる企業、団体の協力のもと、様々な課題を克服しながら日々の活動を推進してきた」とし、「設立 30 周年を機に活動や組織、予算等を抜本的に見直し、役割や活動テーマを再構築する『グランドデザイン』を策定した」と述べ、「本年を『グランドデザイン元年』と位置づけ、数年にわたる事業計画を着実に実行していく」と、力強く宣言し

た。また印刷産業の役割を分かりやすく表すミッションステートメントを制定したことを明らかにし、「印刷産業の社会的責任を果たしていくことに力を注いでいきたい」と抱負を述べた。

最後に、『日印産連 30 年の歩み』を刊行したことを報告、「印刷産業の未来への橋渡しとなることを願い、印刷産業が激動する社会経済と向き合い、いかに対応してきたかをまとめている」とその内容を紹介した。

また、本年が 4 年ごとの「印刷文化典」開催年であることを表明した上で、「印刷産業の現状と課題を考える国際フォーラムを東京ビッグサイトで



主催者を代表して挨拶する稲木歳明会長

ミッション・ステートメント

われわれ印刷業に携わるものは、
印刷事業を通じて常に新しい価値創造に邁進し、
豊かな情報文化、生活文化を実現することで
持続可能な社会の発展に貢献する
そのために、われわれは
常に「印刷」の可能性を見つめなおし、
新しい事業領域の拡大、奥行きの深耕
そして新しい技術開発に挑戦し続ける

開催した。欧州の印刷事情を紹介するとともに日本の業界関係者もパネルディスカッションを通じて相互の課題および展望を議論する大変意義のあるフォーラムになった」とその成果を強調した。

そして、記念式典で行われる各種表彰受賞者に敬意を表し、「印刷産業環境優良工場」を表彰するとともに、設立30周年記念として、クライアントを対象とした『グリーンプリンティング環境大賞』を設け、日印産連が推進する地球にやさしい印刷製品づくりに貢献頂いたクライアントを顕彰する制度を設けた。」と述べ、受賞各社に感謝の意を伝えた。

このあと、出席のご来賓が紹介され、代表して安藤久佳経済産業省商務情報政策局長が、「7月の末に就任して以来、皆様にご挨拶を申し上げるのはこれが初めてです。本日表彰の栄誉に浴される皆様方、また事業社

の皆様方、長年のご貢献に敬意を表させていただきます。

今年は30周年。承りますと10団体8300社が手を携えて日本の文化、日本の産業の振興のために大変がんばっていただいていたと思っております。

ちょうど1985年、筑波万博で開かれた年、まさに衛星を経由して直接印刷をするという『つくば衛星新聞』が刊行されたというエポックメイキングな話題がございました。インターネットの進展等々において、今では印刷業の皆さんが情報化を遂げておられます。30周年を振り返るということは、これからの30年を展望するちょうどその大変重要な時期ではないかと思っています。このあといろいろなIOT(Internet of Things)、ビッグデータそしてAIとこれから大変凄まじい産業、そして社会の構造変化が予想されます。そういう中で皆様方の技術でこれからますます日本を牽引していく大変重要な役割を担っていただけるものと思っています。そういう意味ではまさにこれからの30年、皆様方にとりましてはこれまで以上に大きなビジネスチャンスと社会的なご期待と使命が高くなっていると思います。また他方、地域の密着型の産業だと伺っております。まさに地域における競争を地域の皆さん方が発信をしていただくといった媒体を作っておられる。私どもは情報という切り口と、地域の魅力を発信するクールジャパンという両方の仕事をさせていただいておりますので、そういう意味で皆様方とタッグを組ませていただいてこれからの30年、がんば

らせていただきたいと思います」と、祝辞を述べた。

日印産連表彰に移り、印刷文化賞、印刷功労賞、印刷振興賞、特別賞の4賞の表彰が行われた。

印刷文化典開催年に行われる印刷文化賞は、凸版印刷株式会社代表取締役会長・足立直樹氏、株式会社SCREENホールディングス代表取締役会長・石田明氏、富士フイルムホールディングス株式会社代表取締役会長・古森重隆氏、元日本印刷産業連合会会長・猿渡智氏、株式会社モリサワ相談役・森澤嘉昭氏の5氏に稲木会長よりそれぞれ表彰状と記念品が贈られ、授与式に続き稲木会長を囲んで壇上で記念撮影が行われた。

引き続き、団体運営を通じて印刷産業の発展、向上に寄与した方に贈られる印刷功労賞の表彰に移り、14名の受賞者が登壇し、株式会社イセト・小谷達雄氏が代表して稲木会長より表彰状が贈られた。

業務の進歩、改善に貢献された方、また多年にわたり業界指導に貢献された方に贈られる印刷振興賞は22名の方が2グループに分かれ登壇、1組目は受賞者11名を代表して、松栄印刷有限会社・渡部俊行氏に、2組目は、受賞者11名を代表して松本製本株式会社・松本峰包氏に表彰状が贈られた。

印刷産業界の地位向上に寄与した個人・団体などに贈られる特別賞は、全日本印刷工業組合連合会(常務理事・池田幸寛氏)、広島県印刷工業組合福山支部(福山支部長・浅田英史氏)、山口県印刷工業組合青年部(青年部会長・岡崎吉男氏)、株式会社トッパンコミュニケーションプロダク



来賓祝辞・安藤久佳経済産業省商務情報政策局長

印刷文化賞



印刷文化賞・凸版印刷株式会社代表取締役会長・足立直樹氏



印刷文化賞・株式会社 SCREEN ホールディングス代表取締役会長・石田明氏



印刷文化賞・富士フイルムホールディングス株式会社代表取締役会長・古森重隆氏



印刷文化賞・元日本印刷産業連合会会長・猿渡智氏



印刷文化賞・株式会社モリサワ相談役・森澤嘉昭氏



印刷文化賞受賞者

印刷功労賞



印刷功労賞受賞者を代表して表彰状を受ける
小谷達雄氏（株式会社イセト）



印刷功労賞受賞者

印刷振興賞



印刷振興賞1組目の受賞者



印刷振興賞受賞者1組を代表して表彰状を受ける
渡部俊行氏
（松栄印刷株式会社）



印刷振興賞2組目の受賞者



印刷振興賞受賞者2組を代表して表彰状を受ける
松本峰包氏
（松本製本株式会社）

特別賞

特別賞受賞の全日本印刷工業組合連合会（常務理事・池田幸寛氏）、広島県印刷工業組合福山支部（福山支部長・浅田英史氏）、写真中央は稲木会長、山口県印刷工業組合青年部（青年部会長・岡崎吉男氏）、株式会社トッパンコミュニケーションプロダクツ・堀洸太氏



ツ・堀洸太氏の3団体1個人が表彰され、稲木会長よりそれぞれ表彰状と記念品が授与された。

ついで、第14回印刷産業環境優良工場表彰に移り、司会者より環境優良工場表彰の意義が述べられたあと、本年度の受賞工場は、経済産業大臣賞1工場、経済産業省商務情報政策局長賞2工場、一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞5工場、同特別賞2工場、同奨励賞11工場の計21工場の表彰になると発表された。

経済産業大臣賞は、株式会社笠間製本印刷が受賞、代表取締役・田上裕之氏、管理部部长・藤田長宏氏が登壇、経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課課長補佐・高橋淳子氏より表彰状と記念品が贈ら

れた。

経済産業省商務情報政策局長賞には、株式会社光邦・新座工場と池田印刷株式会社・京浜島工場の2工場が受賞し、株式会社光邦は取締役生産本部長・東原弘志氏、池田印刷株式会社は取締役京浜島工場長・岩佐育美氏が登壇、高橋淳子氏よりそれぞれ表彰状と記念品が贈られた。

次いで、日本印刷産業連合会会長賞表彰に移り、杉山メディアサポート株式会社・都田工場(取締役・大高里枝子氏)、トッパン・フォームズ東海株式会社・静岡工場(代表取締役社長・寺島孝志氏)、賀谷セロファン株式会社・本社工場(代表取締役・賀谷眞尚氏)、株式会社木万屋商会・

市川工場(代表取締役社長・朝日健之氏)、株式会社興栄社(営業部部长・山崎良幸氏)の5社の代表者が登壇、引き続き特別賞には、有限会社TOMY'S(代表取締役社長・富岡誠治氏)、古川印刷株式会社(代表取締役・古川幹彦氏)の2工場の代表が登壇、稲木会長よりそれぞれ表彰状を授与された。

ついで、同奨励賞表彰に移り、株式会社エムアイシーグループ本社工場、株式会社東京研文社埼玉工場、プリ・テック株式会社本社工場、昭栄印刷株式会社本社工場、株式会社ローヤル企画真岡工場、日本パッケージング株式会社、株式会社メイジ宮城工場、株式会社太陽堂成晃

環境優良工場表彰



経済産業大臣賞・株式会社笠間製本印刷
代表取締役・田上裕之氏



経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業
課課長補佐・高橋淳子氏を囲んで経済産業大臣
賞・株式会社笠間製本印刷代表取締役・田上裕
之氏と管理部部长・藤田長宏氏



経済産業省商務情報政策局長賞・株式会社光
邦・新座工場(取締役生産本部長・東原弘志氏)



経済産業省商務情報政策局長賞・池田印刷株
式会社・京浜島工場(工場長・岩佐育美氏)



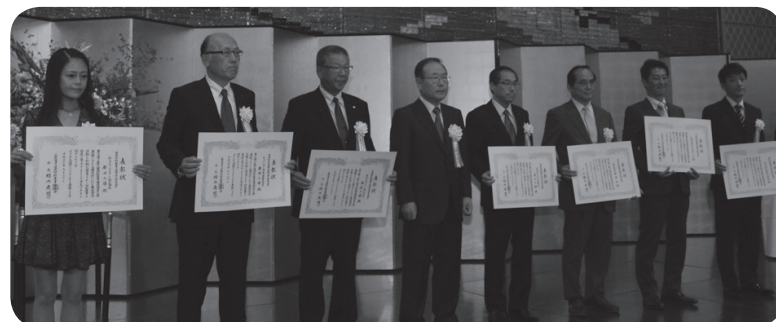
【写真左から】日印産連会長賞・杉山メディアサポート株式会社・都田工場(取締役・大高里枝子氏)、トッパン・フォームズ東海株式会社・静岡工場(代表取締役社長・寺島孝志氏)、賀谷セロファン株式会社・本社工場(代表取締役・賀谷眞尚氏)、株式会社木万屋商会・市川工場(代表取締役社長・朝日健之氏)、株式会社興栄社(営業部部长・山崎良幸氏)



日印産連特別賞・有限会社TOMY'S
(代表取締役社長・富岡誠治氏)



日印産連特別賞・古川印刷株式会社
(代表取締役・古川幹彦氏)



会長賞と特別賞受賞の7社



奨励賞・代表して表彰状を受ける
株式会社ローヤル企画
(代表取締役社長・松浦睦桐氏)



奨励賞の皆さん

社新座工場、株式会社賢工製版天王洲工場、株式会社太陽堂封筒、株式会社シモクニの11工場が選ばれ、代表して株式会社ローヤル企画（代表取締役社長・松浦睦桐氏）に表彰状が授与され、第14回環境優良工場表彰式を終えた。

ここでGP大賞受賞者が会場に入場、着席後、GP環境大賞の表彰式に移った。

GP環境大賞は日本印刷産業連合会が行うGP認定制度において表示部数、表示件数の総合的管理から、GPマークの印刷製品を多く発注した企業・団体に授与されるもので、設立30周年を記念しての初の試みとなった。

本年は、GP環境大賞表彰として大賞5団体、準大賞10団体の計15団体が表彰された。

大賞は、株式会社ジェイアール東日本企画、株式会社タカラトミー、一般社団法人日本自動車連盟、本田技研工業株式会社、株式会社丸井グループの5団体が受賞、稲木会長より敬意と感謝を込めて表彰状が授与された。

引き続き準大賞には、イズミヤ千里丘店イズミヤ会（欠席）、岐阜県垂井町、埼玉県北本市、千葉県千葉市、東武鉄道株式会社、一般社団法人日本二輪車普及安全協会、一般財団法人脳神経疾患研究所、株式会社ホンダ四輪販売 北・東北、レインボー薬品株式会社、稚内信用金庫の10団体が受賞、代表して一般社団法人日本二輪車普及安全協会に稲木会長より協力に対する感謝の言葉とともに表彰状が授与されGP環境大賞の表彰式は終了した。

次いで、全受賞者を代表して印刷

文化賞受賞の足立直樹氏と古森重隆氏が謝辞を述べた。

凸版印刷株式会社取締役会長足立直樹氏は、「日本印刷産業連合会の設立30周年記念式典という晴れの表彰の榮譽に浴し受賞者一同、身に余る光栄です。

私は、昭和37年凸版印刷に入社以来、50年以上印刷産業に携わってまいりました。その間、印刷産業は時代と市場の変化に積極的に対応し、大きく変貌を遂げてきました。日本印刷産業連合会の30年の活動はまさにその基盤づくりを担ってきた歴史であります。私たち受賞者はそれぞれがさまざまな分野でその一翼を担って参りました。それをこのような形で表彰されることは誠に光栄なことだと心より感謝を申し上げます。

21世紀を迎え、急激な情報化の波が押し寄せ、インターネットをはじめとしたデジタル化技術が人々の生活や社会、経済の仕組みにさまざまな変化を及ぼしています。また少子高齢化や女性の社会進出など企業を取り巻く環境も刻々変化しています。我々印刷産業もこの劇的な変化の波に対応し、継続的な挑戦を進めていく必要

GP 環境大賞



GP大賞は、株式会社ジェイアール東日本企画、株式会社タカラトミー、一般社団法人日本自動車連盟、本田技研工業株式会社、株式会社丸井グループの5社が受賞



準大賞受賞の各社



受賞者謝辞・足立直樹氏



受賞者謝辞・古森重隆氏

があります。グーテンベルクの時代から情報化とともに歩んできた印刷産業にはこの改革を推し進める力があると私は信じております。私ども受賞者一同は、本日あらためて印刷産業の未来に向け更なる精進をしてみたい」と述べた。

次いで、富士フイルムホールディングス株式会社代表取締役会長 CEO の古森重隆氏は、「今日、このたび日本印刷連合会の設立 30 周年の記念すべき本年に印刷文化賞を賜りまして誠に

に光栄に存じます。印刷は古くから重要な情報のメディアでございます。文字、言葉等々、極めて重要な役割を歴史上果たしてまいりました。私は会社に 50 年以上居ますが、そのほとんどを印刷担当として過ごしてきました。印刷産業は、技術革新を積み上げながら手工業的な製造業から近代的な製造業へ発展を遂げてきました。印刷産業は、日印産連の指導のもと、技術の革新、業界の構造改革、近代化促進運動などに取り組み、新しい技術を貪欲に追求してきました。本日の印刷文化賞は、私どもメーカーが技術サービスで皆様の技能革新のお力になれたと多少なりともお役に立てたというふうに考えております。私自身のキャリアの中で 90% は印刷関連でやってまいりました。業界の皆様には若いうちからたいへんお世話になると同時

に育てていただきました。この業界は人間関係を非常に大事にする業界だということです。当社は、カラーフィルムなどの写真製菓をほとんど失いました。しかし、診断機器など医療関係、医薬、あるいはデジタル印刷、化粧品・健康食品など事業転換を果たして、現在も成長を続けております。本日最終日を迎えました IGAS を計画いたしまして、印刷産業は情報伝達の重要な手段の一つとして、ますます多様化し今後社会の中で重要な地位を占め続けると確信いたしました。来年は drupa が開催されます。印刷関連メーカーは今後とも業界のお役に立てる技術・商品サービスを提供すべく努力してまいります」と謝辞を述べ、記念式典を終了した。

懇親会

「2015 年印刷文化典」祝い、盛大に懇親会

「会場を移して午後 6 時より、設立 30 周年記念式典 2015 年印刷文化典の懇親会を開催、開宴に先立ち、島村博之日本印刷産業連合会副会

長が、受賞者に敬意を表した上で、「日印産連は今年、グランドデザインを発表しました。核になるものは SR(social responsibility) です。そして今や印

刷業界は CSR を推し進める産業として恐らくトップを走っていると思われます。CSR と一言で言ってもいろいろな分類がございます。とくに重要な



懇親会会場全景



開会の挨拶・島村博之日本印刷産業連合会副会長



乾杯・平井淳生経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課長

ものは環境対策だと思われます。しかも我々ほど環境に対し真面目に誠実に取り組んでいる業界は類のないのではないかと思います。企業の皆様は、物を買うときに環境省の定めたグリーン購入法に基づいて物品を購入します。その中の印刷の役務という項目に、数年前からこのグリーンプリンティング認定制度の内容をそのまま用いられています。そしてもう一つ、この GP 認定を取得した企業が使用できる資格、これが GP マークです。世の中の印刷物を GP マークで溢れさせることが我々の貢献ではないかと考えています」と、開会の挨拶を行った。

次いで乾杯のご発声は、平井淳生経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課長が、「30 年前は、印刷はモノづくり、生活関連の物資を供給する業界と位置づけさせていただいておりました。今はむしろ、情報をどう扱っていくかという位置づけで印刷産業を担当させていただいております。印刷はさまざまな情報を人に伝達し、あるいは次の世代に正確な情報を保存し記録を残していくという非常に重要な産業です。また文化そのものでもあります。我々が取り組んでいるローカルアベノミクス、アベノミクスはますますパワーアップして推進しなければいけません。その中で重要な観点、地方地域です。皆様の産業を通じて、それぞれの地域を支えるさまざまな地域の産品、あるいは地域の観光、いろいろな産業が好循環に入っていただきますようお願いしたいと思います」と述べ、高らかに杯を上げ、印刷文化典の開催を祝った。

開宴中、次々にご来賓の皆さんがお祝いに駆けつけスピーチを行った。

下村博文文部科学大臣は、「もっともっと印刷業界の皆様のご活躍の場が作られることが必要だと思っています。来年 2016 年から 2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けて文化・芸術を世界に発信をしていこうということでスポーツ・文化フォーラムを来年

秋ごろスタートさせようと考えています。印刷業界の皆様と力を合わせて活力ある活動を展開していきたい」と挨拶。

次いで、保岡興治衆議院議員は、「私が担当している知的財産調査会では、日本の文化を背負う印刷産業に対してささやかな貢献ができるものと考えています」と挨拶。

民主党の海江田万里氏は、「日本文化の継承者として印刷産業の皆様方が頑張っておられるということ、皆様方のお仕事が隆盛しますよう祈っています」と挨拶。

祝電披露などを挟んで、宴もたけなわの午後7時過ぎ、10 団体会長が登壇。浅野健副会長が中締めが発声を指名され、「締めの音頭をとりますが、手締めではなく締めのビールで景気よく締めたい」と述べ、壇上の全員に杯が配られ、賑やかに締めの乾杯を行い、全日程を終了した。



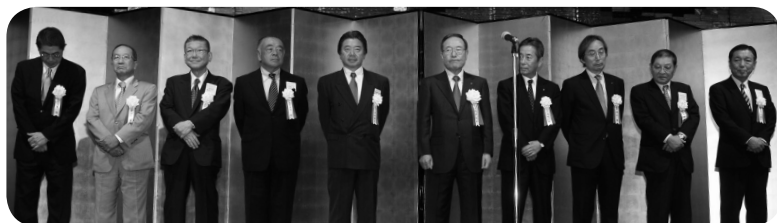
下村博文文部科学大臣



保岡興治衆議院議員



民主党の海江田万里氏



10 団体会長



中締め・浅野健副会長